

折尾愛真

NEWS LETTER



2014年 3月
12号 Vol. 78

〒807-0861 福岡県北九州市八幡西区堀川町12番10号
TEL 093-602-2100 (代表) FAX 093-692-5690
E-mail: info@orioaishin.ac.jp
URL: http://www.orioaishin.ac.jp/

学園聖句： 「光の子らしく歩きなさい」
(エペソ人への手紙5章8節)

建学の精神 EST. 1935 (昭和10年)

- ・キリスト教に基づく人格教育を行います。
- ・専門教科による職業教育を行い、有能な人材を育成します。
- ・自主独立の精神を養います。
- ・国際交流による国際理解教育を行います。

普通科

- 特進コース
- 普通コース
- 健康福祉コース
- 保育コース
- インターコース
- 一貫コース

看護科

- 看護科
- 看護専攻科

商業科

- 商業コース
- 美容専攻コース
- 製菓衛生師コース

卒業証書授与式 第64回 (通算74回)

3月3日(月)、厳粛の中、第64回卒業証書授与式が挙行されました。卒業生248名は創立以来、ひとり一人に手渡される卒業証書を受け取りながら3年間の学び舎での思いを噛みしめていました。式終了後、恒例のハレルヤコーラスでは、素晴らしい歌声に参加者からあふれんばかりの拍手を頂きました。



卒業生による
ハレルヤコーラス

看護科看護専攻科

3月6日(木)、看護専攻科生47名が5年間の学びを終え、思い出多い学び舎を巣立っていきました。卒業生代表の田中夕貴さんは、答辞の中で家族への感謝の気持ちと誰よりも多くの時間を共にしてきた最高の仲間に出会えたことに感謝しますと述べていました。



卒業証書授与式(43回)

折尾愛真学園イメージキャラクター



募金活動の様子(左)と制作
実行委員会代表生徒会長の
宮崎夏子さん(右)

創立80周年の節目を迎えるにあたり、学園のイメージを表現するシンボリックなキャラクターを制作することになりました。生徒会が中心となって昨年6月より活動を続け、9月に生徒・学生からの多数の応募の中から4作品を選び、最優秀賞作品に選ばれた3学年普通科一貫コースの飯田健志の会さんの森の学園をイメージした「もりおん」の制作に取りかかり、同時に募金活動も始めました。このたび、原画作成から半年、学校の協力のもと完成いたしました。3月7日(金)、全校生徒に披露されました。これから、あらゆる場面での活躍を期待します。

優良卒業生表彰

2013 年度卒業生に対して、学業及び学校生活に於いて優秀な成果を残した生徒・学生に賞状が渡されました。



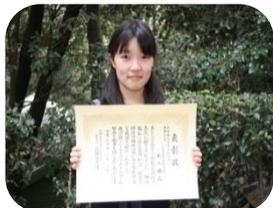
平成 25 年度福岡県高等学校
商業教育振興部会 会長賞
平成 25 年度福岡県産業教育
振興会専門高等学校
優良卒業生

池田未来さん (枝光台中学出身)



平成 25 年度産業教育振興中央会専門
高等学校等御下賜金記念優良卒業生
平成 25 年度全国商業高等学校長協会
公益財団法人全国商業高等学校協会

吉田千景さん (長崎県西海市立大島中学出身)



井上麻衣さん
(城山中学出身)

平成 25 年度全国福祉高等学校長
理事長賞



入江絢香さん
(千代中学出身)

平成 25 年度全国看護高等学校長協会
表彰生



花井明理さん (宮田中学出身)
平成 25 年度産業教育振興中央会
専門高等学校等
御下賜金記念優良卒業生

3月8日(土)、第7回吹奏楽定期演奏会が、なかまハーモニーホールで行われました。今回はゲストに、ソロ トランペット奏者の山野哲正氏をお迎えし3部構成のステージを行いました。昨年よりも多い500人を超える聴衆者からは惜しみない拍手をもらいました。また、特別ゲストとして折尾愛真学園イメージキャラクターの「もりおん」を登場し会場を盛り上げていました。

第7回吹奏楽定期演奏会



「もりおん」の登場に会場も和やかな雰囲気になりました。



「草創期の黒田藩と栗山大善」 遠賀川①

遠賀川は九州では筑後川(福岡県)・大淀川(宮崎県)・球磨川(熊本県)・五ヶ瀬川(宮崎県)・大野川(大分県)の五大河川に次ぐ、大川の一つに数えられます。人類は太古のその昔、流浪生活を繰り返していましたが、そのうち、気候温暖な海浜や河川の流域で定住生活を始め、魚介類を獲り、山野で鳥類を捕獲して、安定した生活を営むようになります。人類文化の発祥の地はエジプトのナイル川、アラビア半島のチグリス川、ユーフラテス川、或いは中国の黄河、長江の流域と云われていますが、肥沃な流域に人類は住み着いて、文化が起こってきたと云われています。ここ遠賀川流域も人類が豊かな生活を始めるには、温暖な自然環境、肥沃な土地、海の幸、山河の幸に恵まれた自然環境と条件が備わっていたと云えましょう。太古の昔から遠賀川は氾濫、洪水を繰り返しては流域の平野を肥沃にしてきたとも云えます。列車がJR鹿児島本線の遠賀川の鉄橋を通過する際、一瞬、水量豊かな遠賀川の流水を眺める事ができます。この鉄橋から左手の土手を僅か上流に行きますと、立屋敷と云う所があります。この地がわが国に最初の稲作文化が発祥した処として伝えられています。説明版によると、『弥生時代(紀元前三世紀～紀元三世紀)に米づくりは大陸から北部九州に伝わり、弥生式文化として全国に広まったと考えられています。人々は縄文時代までの狩りや採集の移動生活から米づくりによる定住生活を営むようになります。立屋敷遺跡は弥生時代前期から後期にわたる遺跡です。土器をはじめとして石包丁、木製の農具など米づくりにかかわるものがみつかりました。米づくりがどこではじまったのか、確かなことはわかりませんが、立屋敷遺跡はその発祥の地の一つであろうといわれています。』と書かれています。

小田弘之著書「草創期の黒田藩と栗山大善」より